

## 天草の高校生のけなげな姿とインターネット情報のあまりの違い

### 亡き父で経験した症状の多彩さと耐えきれない辛さ

佐々木真紀 視能訓練士

HPV ワクチンの副作用で苦しんでいる方々がいることを、恥ずかしながら初めて知りました。ここ何年かはテレビを見ないのですが、ワクチン接種を促すテレビCM も見たことがあり、HPV ワクチン接種に対して特に疑問を感じておりませんでした。

医師に理解してもらえない原因に、症状の多彩さがあり、心因性にされてしまう辛さには、とても共感します。

天草の高校生のお嬢さんのけなげな姿には涙が出ました。

亡くなった父は、体中のあちこちに痛みが生じ、最後はそれに耐えきれない状態でした。

どこの病院に行っても原因はわからないといわれました。後に母が自分でいろいろ調べて線維筋痛症じゃなかったのかな、と言っていたのを思い出しました。

適切な診断・治療を受けるには、専門の医師に診てもらえるか、自分の専門以外にもよく勉強している医師にめぐり合えるかにかかっている、都市部より地方ではその確率はぐっと下がると思います。

受講後、インターネットで情報を見てみましたが、厚生労働省をはじめ、私の住む千葉県でも、どこかの大学の先生も、「ワクチン接種の効果は副作用より上回る」という情報ばかりでした。

中国ではインターネットなど情報が操作されていると聞いていましたが、日本でも、NHK や各新聞社が、ネットからの攻撃をおそれたり、厚生労働省やWHOの権威を信じてしまったり、製薬会社に気を使ったりして真実を書かなかったり、調べようとしなかったりすることに衝撃を受けました。

情報があふれる社会において、本当に必要な情報を取捨選択するのが難しくなっています。

それに加えて真実が表に出てこないという現状では、選択する情報が出そろっていないという観点でスタート地点にも立てていないと感じます。